

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	編集後記
別タイトル	EDITORIAL POSTSCRIPT
作成者（著者）	東邦大学医学会編集委員会
公開者	東邦大学医学会
発行日	2021.06.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 68(2).
資料種別	その他
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD97365718

第 68 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)	田辺三菱製薬 (株)
(株) 大塚製薬工場	イノラス

(ABC 順)

編集委員会

編集委員長：中野裕康
 編集委員：赤羽悟美 弘世貴久 池田隆徳
 狩野修 片桐由起子 近藤元就
 内藤篤彦 南木敏宏 佐藤二美
 高橋寛 和田弘太
 編集顧問：伊豫田明 津熊久幸

(ABC 順)

編集後記

新型コロナウイルス感染症が日本に入ってきたのが 2020 年 1 月でしたが、気がつけばすでに一年半が経過しようとしています。3 回目の緊急事態宣言が 2021 年 4 月 25 日に発令されましたが、1 回目の緊急事態宣言が 2020 年 4 月 7 日から 5 月 25 日であったところから数えても、ちょうど 1 年が経過したことになります。

1 年前も今も、新型コロナ感染症対応で同じことが繰り返されていると感じる日々ですが、その一方で 1 年前を思い返すと、学会や会議がすべて中止や延期となり診療のスタイルも変化してそれまでとは大きく異なった生活のリズムになりましたが、現在では、学会は web 開催やハイブリッド開催となり会議も web になって、デジタルトランスフォーメーション化が一気に進んだことを改めて実感します。

では、東邦医学会雑誌はどうであろうかと、1 年前の第 67 巻第 2 号を開いてみました。すると掲載内容は、巻頭言、総説 1、原著 1、症例報告 1、受賞記念講演要旨 1、第 73 回東邦医学会総会抄録、教室紹介 1、論評でした。そしてこのたびの第 68 巻第 2 号はどうかというと、巻頭言、総説 3、症例報告 1、受賞記念講演要旨 2、第 74 回東邦医学会総会抄録、教室紹介 2、論評、それに加えて分科会抄録集 5、最終講義・送別の辞 3 と、内容が充実していました。これはひとえに、投稿をしてくださったみなさま、編集委員長、編集に携わった多くの方々のご協力とご尽力ゆえで

ありますが、あまり変わっていないように感じていても、何事も確実に積み上げられ前に向かって進んでいるのだと実感する機会となりました。

かつては予想をしなかったような先の見えない状況が続きますが、デジタルトランスフォーメーション化が進んだように、きっとこの状況が新しい何かを生み出したり育てたりする契機になるのだと信じ、1 年後の東邦医学会誌がさらに膨らんでいることを楽しみに過ごしてまいりたいと思います。引き続き、東邦医学会誌をよろしく願い申し上げます。

(片桐由起子)

東邦医学会雑誌 第 68 巻 第 2 号

令和 3 年 6 月 1 日発行

編集兼 中野裕康
 発行人

〒143-8540 東京都大田区大森西 5 丁目 21 番 16 号
 東邦大学医学部本館 3 階

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3764-1642

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原 3-46-10

株式会社 杏林舎